

「貧困・困窮者支援における労働と福祉の連携」PTについて

政策統括官付労働政策担当参事官室

- 「貧困・困窮者支援における労働と福祉の連携」PT（以下「PT」という。）は、平成21年2月10日～平成23年3月1日までの間に計11回開催。
- PTの主な議題は、以下の事項。
 - ・ 厚生労働省における、年末年始に向けた住居・生活困窮者支援対策
 - ・ 緊急雇用対策本部の下に設置され、関係省庁で住居・生活困窮者支援について議論する「セーフティネットワーク実現チーム」への対応
- ※ 平成22年から平成23年にかけての年末年始対策の方針について、第6回「セーフティネットワーク実現チーム」（平成22年12月24日開催）において、「別添」のとおり取りまとめ。
- 平成23年度以降も、福祉担当部局と雇用担当部局で年末年始対策等について意見交換を行う場を設けた。平成24年度についても必要に応じて実施する予定。

（以 上）

年末年始における住居・生活困窮者の更なる支援の強化について

平成 22 年 12 月 24 日

セーフティ・ネットワーク実現チーム

1. 取組の経緯

住居・生活困窮者の支援については、緊急雇用対策本部貧困・困窮者支援チームの報告¹に基づき、雇用保険の適用拡大、住宅手当の要件緩和・支給期間の延長、ハローワークにおける住居・生活支援窓口の設置など、年末年始だけではなく通年的な対策に取り組んできた。

さらに、年末年始に向け、住居・生活困窮者が、「年を越せないのではないか」という不安を抱かなくて済むよう、11月から12月にかけて、「住居・生活困窮者応援プロジェクト」として、ワンストップ・サービス・デイや就職面接会を集中的に開催するなど、特に強化した取組を行っているところである。²

2. 住居・生活困窮者を取り巻く状況

現下の雇用失業情勢を見ると、10月の完全失業率が5.1%となるなど、持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況にある。

しかし、その一方で、ハローワークの新規求職者のうち住居のない者の数、非正規労働者の雇い止め等の数、ホームレス数は着実に減少している。(別添1)

また、ハローワークの住居・生活支援窓口の新規相談件数が8.4万件(累計)となるなど通年的な支援体制は効果を上げている。住宅手当の支給件数が5.6

¹ 貧困・困窮者支援チーム「ワンストップ・サービス・デイ、年末年始対策の実施を受けた課題と今後の対応について」平成22年1月13日

² セーフティ・ネットワーク実現チーム「住居・生活困窮者に対する通年的対策の強化について」平成22年11月9日

万件(累計)、訓練・生活給付が 15.4 万件(累計)となるなど、第 2 のセーフティネットの活用も進んでいる。(別添 1)

さらに、11 月～12 月に実施している「住居・生活困窮者応援プロジェクト」については、11 月だけで延べ 12,785 人に対し支援を行った。(別添 2) できる限り多くの方の支援を行うため、引き続き各種メディアを活用して周知を行っている。(別添 3)

3. 年末年始に向けた更なる支援の強化

以上のように、通年的な対策が定着しつつあり、住居・生活困窮者も減少傾向にある。

しかし、依然として雇用情勢が厳しいことを踏まえ、12 月 29 日以降について、以下の取組を進める。

- (1) 12 月 29 日及び 30 日において、大都市部のハローワーク（別添 4）を開庁し、年末緊急職業相談を実施する。開庁するハローワークにおいては、職業相談・職業紹介を行うとともに、公営住宅の情報提供、雇用促進住宅のあっせんなどの住宅確保に関する相談等を実施する。
- (2) 12 月 29 日及び 30 日において、ハローワークに住居・生活に関する支援が必要な求職者が来所した場合に、地方自治体との必要な連携が図られるよう、地方自治体に協力を要請する。

別添 1 住居・生活困窮者対策関連資料

別添 2 住居・生活困窮者応援プロジェクトに係る実績状況

別添 3 住居・生活困窮者応援プロジェクトに係る広報

別添 4 年末緊急職業相談窓口一覧

住居・生活困窮者対策関連資料

完全失業率、完全失業者数、有効求人倍率

完全失業率 (平成21年7月) 5.6%	➡	(平成21年10月) 5.1%	➡	(平成22年10月) 5.1%
完全失業者 (平成21年7月) 359万人	➡	(平成21年10月) 344万人	➡	(平成22年10月) 334万人
有効求人倍率 (平成21年7月) 0.43倍	➡	(平成21年10月) 0.44倍	➡	(平成22年10月) 0.56倍

住居喪失離職者

新規求職者数 (平成21年10月) 1,288人	➡	(平成22年10月) 813人 (前年同月比36.8%減)
【参考】新規求職者数のピーク 平成21年1月3,884人		

非正規労働者の雇止め等の状況の推移

(平成20年10～12月)※ 52,684人 (69,943人)	➡	(平成21年10～12月)※ 5,984人 (12,809人)	➡	(平成22年10～12月)※ 4,694人
--	---	---	---	------------------------------

※平成20年は12月時点、21、22年は11月時点で把握できた実施済み又は実施予定の人数。()内は現時点での実績。

ホームレス関係

ホームレス数

(平成21年1月) 15,759人



(平成22年1月) **13,124人**

自立支援センター定員数(利用者数、利用率)

(平成21年11月)

2,058人(1,675人、81.4%)



(平成22年11月)

2,122人(1,444人、**68.0%**)

緊急一時宿泊施設(シェルター)

定員数(利用者数、利用率)

(平成21年11月)

1,544人(884人、57.3%)



(平成22年11月)

1,544人(631人、**40.9%**)

借上方式による緊急一時宿泊施設(シェルター)

定員数(利用者数、利用率)

(平成21年11月)

280人(114人、40.7%)



(平成22年11月)

637人(248人、**38.9%**)

生活保護

平成21年9月※1

被保護世帯 1,263,434

その他の世帯※2 169,106

(単身者世帯) 105,362



平成22年度9月※1

被保護世帯 **1,403,510**

(対前年同月伸び率 11.1%)

その他の世帯 **227,838**

(対前年同月伸び率 34.7%)

(単身者世帯) **150,210**

(対前年同月伸び率 42.6%)

※1 21年、22年とも速報値(福祉行政報告例)

※2 勤労世代と考えられる世帯

対策の実施状況

住居・生活支援窓口 ※平成22年3月～平成22年11月

新規相談件数 **83,755**件 他機関への誘導件数 **71,252**件

就職安定プログラム…住宅手当等受給者に対する就職支援 ※平成22年4月～平成22年11月

新規開始者数 **8,093**人 就職者数 **3,091**人

住宅手当 ※平成22年4月から支給要件を緩和・支給期間を延長

(平成21年10月～平成22年10月) 支給決定数 **55,873**件(平成22年4月からの延長決定分も含む)

総合支援資金貸付 ※平成21年10月から実施

貸付決定実績(速報値)

(平成21年10月～平成22年11月) 決定者数 **42,521**人

緊急人材育成支援事業(基金訓練及び訓練・生活支援給付)

※ 21年7月～事業開始 ※22年11月 求職者支援制度の制度化までの間延長

【訓練】(21年7月～22年12月7日現在) 受講者数 **217,223**人

【給付】(21年7月～22年12月7日現在) 受給資格認定件数 **154,027**件

住居喪失離職者への声掛け・支援状況(住居・生活困窮者応援プロジェクト)

対象者:2,451人(11月15日時点の有効求職者)

→うち**82.0%**(2,010人)が住居を確保(11月末時点)

住居・生活困窮者応援プロジェクト に係る実績状況(11月分)

別添2

対策対象者数 計12,785名(延べ)

ワンストップ・サービス・デイ

- 実施地域数・回数 102地域・142回
- 利用者数・相談件数 855名・1,735件
- 164市区町村及び関係機関の協力を得て実施

就職面接会等

- 実施回数 177回
- 参加者数 5,904名
- 就職件数 216件(11月末現在)

うち住居・生活相談コーナー

- 利用者数 777名
- 相談件数 1,217件

住居・生活支援窓口

第2のセーフティネット支援施策等の総合相談、担当窓口への誘導の実施

- 新規相談者数 7,872名(前月比7.1%増)
- フォローアップ件数 5,805件(前月比:58.0%増)
- 他機関への誘導件数 6,518件(前月比:6.8%増)
うち住宅手当への誘導件数2,848件、総合支援資金貸付への誘導件数2,170件

住居喪失離職者に対する呼びかけ

- 呼びかけした人数 2,451名

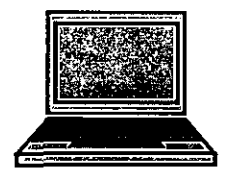
担当者制による就職支援

- 新規開始者 830名(前月比:1.8%増)
- 就職者数 607名(前月比:37.6%増)

(参考)訓練・生活支援給付

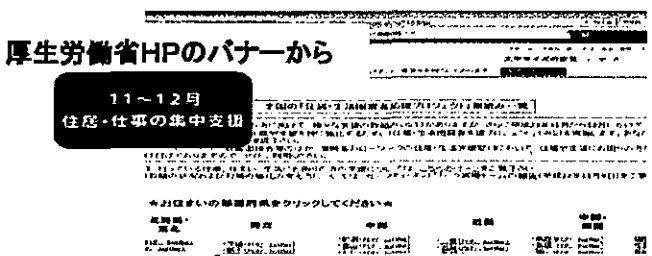
- 受講者数 18,226人
- 受給資格認定件数 14,890件

住居・生活困窮者応援プロジェクトに係る広報



パソコン版サイトの開設

http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/safety_net/nenmatsu2010.html



厚生労働省HPのバナーから

11～12月
住居・仕事の集中支援



QRコード→



携帯サイトの開設

<http://mobile.mhlw.go.jp/jukyo/index.html>

twitter

ツイッターでのつぶやき

http://twitter.com/MHLW_ouenP

YouTubeでのメッセージ配信

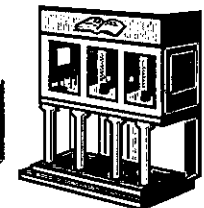
<http://www.youtube.com/MHLWchannel>



小宮山副大臣

住居・生活困窮者応援プロジェクト

リーフレットの配布



住居・生活・就業 応援プロジェクト

住居・生活 支援を応援します

就業を 支援します

第二のセーフティネットなどの 活用を支援します

ルビなし

住居・生活・就業 応援プロジェクト

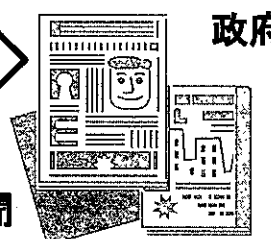
住まいの 確保を応援します

生活費などの 支援を応援します

しごと探しを 支援します

ルビ入り

政府広報



新聞

突き出し、記事下広告

政府インターネットテレビ

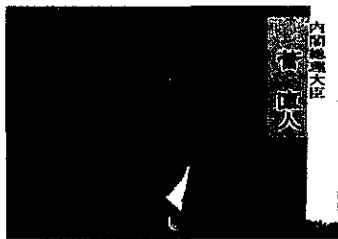


インターネット広告

YAHOO! JAPAN

名刺大カード

コンビニなどに配置



菅総理 KANFULL BLOG

<http://kanfullblog.kantei.go.jp/>

年末年始に向けた住居・生活困窮者対策 広報一覧

媒体名		掲載期間	備考
政府広報	新聞	新聞記事下	12月15日
		新聞突き出し	12月6日～12月12日
	モバイル広告	The News	12月6日～12月12日
	インターネット広告	Yahoo!公共広告サーチバナー	12月13日～12月26日
	名刺サイズカード		12月15日～12月28日
	政府インターネットテレビ		12月16日～
	政府広報オンライン特集記事		12月3日～12月19日 は、Yahoo!のインターネットテキスト広告(一行広告)からリンク
	ビッグイシュー		12月15日～
厚労省	厚労省ホームページ特設サイト		特設サイトURL http://www.mhlw.go.jp/bunva/kovou/safety_net/nenmatsu2010.html
	厚労省携帯版特設サイト		QRコードを作成
	チラシ		・ホームレス支援団体 ・厚労省ホームページ特設サイトに掲載 ・児童館、図書館にも配布
	専用ツイッター		11月25日～
	Youtube	12月7日～	
		12月16日～	
新着情報配信サービス		11月24日～	
その他	KAN-FULLブログ		12月20日
	視察	11月9日	
		12月11日	

雇用で4回シリーズの第2回が住居・生活困窮者向け

期間中、順次各紙一面に掲載

携帯のニュースサイト「The News」(無料)に、広告を掲載 → リンク先は厚労省モバイルの住居・生活困窮者応援プロジェクトのページ

Yahoo!検索連動型広告(ある特定キーワードをYahoo!で検索すると、検索結果ページ右上にバナーが掲載)
[検索キーワード]

○ 求人 ○ 生活保護
○ 生活相談 ○ 家賃滞納

・セカンドハーベスト・ジャパン(ケータリング)、サークルKサンクスに配布
・自殺対策推進室に配布

プロのアナウンサーと小宮山副大臣の対話形式。
テーマは雇用全体について(3問中1問が住居・生活困窮者向けの問)

テーマは雇用全体。その中の一部が、住居・生活困窮者対策。

ホームレスの自立を支援する雑誌

特設サイトURL
http://www.mhlw.go.jp/bunva/kovou/safety_net/nenmatsu2010.html

QRコードを作成

・ホームレス支援団体
・厚労省ホームページ特設サイトに掲載
・児童館、図書館にも配布

全国のイベントを日々つぶやく

小宮山副大臣出演(メッセージとよくある質問に回答する)

菅総理出演(仕事・住まい・生活にお困りの方へ～菅総理からのメッセージ)

ホームページに掲載された新着情報を配信するメールの冒頭に、「住居・生活困窮者応援プロジェクト」サイトを掲載し広報(1日に2回配信)

「仕事がない、家がない方への年末年始の支援策～あなたの周りの『生活に困っている方』には是非お知らせください～」を紹介

小宮山副大臣、小林政務官がハローワーク新宿、東京キャリアアップハローワーク、住居喪失不安定就労者サポートセンターTOKYOチャレンジネットを視察

菅総理、細川大臣、小宮山副大臣、小林政務官、湯浅参与が東京キャリアアップハローワーク、サークルKサンクス、マンガ・ネット館を視察

年末緊急職業相談窓口一覧

別添4

労働局	窓口開設ハローワーク	所在地	電話番号
北海道	ハローワーク札幌(ハローワークプラザ札幌)	札幌市中央区北四条西5 三井生命札幌共同ビル5階	011-242-8689
埼玉	ハローワーク大宮(ハローワークプラザ大宮)	さいたま市大宮区桜木町1-9-4 エクセレント大宮ビル4階	048-658-1145
千葉	ハローワーク千葉(ハローワークプラザちば)	千葉市中央区新町3-13 千葉TNビル1階	043-238-8300
東京	ハローワーク飯田橋	文京区後楽1-9-20 飯田橋合同庁舎内2階	03-3812-8609
	ハローワーク品川	港区港南2-5-12 品川NBSビル	03-3450-8609
	ハローワーク新宿(東京キャリアアップハローワーク)	新宿区西新宿1-7-1 松岡セントラルビル9階	03-5909-8609
	ハローワーク木場	江東区木場2-13-19	03-3643-8609
	ハローワーク府中	府中市美好町1-3-1	042-336-8609
神奈川	ハローワーク横浜(ハローワークプラザよこはま)	横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル1階	045-410-1010
	ハローワーク川崎	川崎市川崎区南町17-2	044-244-8609
静岡	ハローワーク浜松	浜松市中区浅田町50-2	053-457-5151
愛知	ハローワーク名古屋中(キャリアアップハローワークあいち)	名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル11階	052-252-8619
京都	ハローワーク京都西陣(ハローワークプラザ烏丸御池)	京都市中京区烏丸御池上ル北西角 明治安田生命京都ビル1階	075-255-1161
大阪	ハローワーク梅田	大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル16階	06-6344-8609
	ハローワーク大阪西(ハローワークプラザ難波)	大阪市中央区難波2-2-3 御堂筋グランドビル4階	06-6214-9200
	ハローワーク堺	堺市堺区三国ヶ丘御幸通152 堺ジョルノビル8階	072-238-8301
兵庫	ハローワーク神戸	神戸市中央区相生町1-3-1	078-362-8609
福岡	ハローワーク福岡中央(ハローワークプラザ福岡)	福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ12階	092-716-8609
	ハローワーク小倉	北九州市小倉北区萩崎町1-11	093-941-8609

(参考)

緊急雇用対策本部 「セーフティ・ネットワーク実現チーム」の設置について

1 趣旨

昨年来の貧困・困窮者支援の取組（「ワンストップ・サービス・デイ」の試行実施、年末年始の生活総合相談等）を踏まえ、4月26日雇用戦略対話における鳩山内閣総理大臣の指示に基づき、「セーフティ・ネットワーク実現チーム」を設置し、「パーソナル・サポート（個別支援）」の導入や「居住セーフティネット」の整備といった「セーフティ・ネットワーク」の実現に取り組む。

2 メンバー

主査 : 細川厚生労働副大臣
副主査 : 辻元国土交通副大臣、長安国土交通大臣政務官、
小川総務大臣政務官、荒井内閣総理大臣補佐官
事務局長 : 山井厚生労働大臣政務官
事務局長代理 : 湯浅内閣府本府参与
事務局次長 : 内閣府政策統括官（経済財政運営担当）
総務省大臣官房地域力創造審議官
厚生労働省職業安定局長
厚生労働省社会・援護局長
厚生労働省大臣官房審議官（職業能力開発担当）
厚生労働省大臣官房政策評価審議官
国土交通省住宅局長

3 検討項目

- 昨年来の「貧困・困窮者支援チーム」における取組の総括
- 「通年対応」としての「パーソナル・サポート（個別支援）」の検討
 - ・ 非正規就業や長期失業等で生活に困窮する人々を個別的・継続的に支える「パーソナル・サポート（個別支援）」の在り方の検討
- 「居住セーフティネット」の検討
 - ・ 一定の居所を定めず、仕事を求めて各地を転々とせざるを得ない方々等に対する保護・支援について、自治体が、要支援者の集中に対する懸念を持つことなく、適切に実施責任を果たすことができるようするための方策の検討
 - ・ 離職者・低所得者の「居住の権利」を支え、就労を促進するための住まい対策の検証とその在り方の検討

4 当面のスケジュール

- 5月連休明けに設置し、5月中に取組の基本方針を中間的にとりまとめ、新成長戦略「雇用・人材戦略」に反映する。
- その後、「セーフティ・ネットワーク」の実現に向けて具体的な取組の検討を進める。